

北九州市・ムーブにおける男性の暮らし方・ 意識変革に向けた取組



北九州市

- ・ 関門海峡に面し、九州最北端に位置する。
- ・ 昭和38年 門司市・小倉市・若松市・八幡市・戸畑市の5市が合併し、北九州市が発足。
同年、政令指定都市に指定される。
- ・ 昭和49年 5区→7区
- ・ 推計人口 956,772人（平成28年10月1日）

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ所長

西本 祥子

話の内容



- 1 北九州市・ムーブにおける男性の暮らし方・意識変革に向けた
これまでの取組の経過
- 2 北九州市・ムーブにおける男性の暮らし方・意識変革に向けた
取組(現在)
- 3 ムーブの取組(男性向け講座の展開)
- 4 北九州市のワーク・ライフ・バランス推進の取組
- 5 北九州の企業人による小学校応援団
- 6 他の北九州市における取組
- 7 地域性を踏まえて 平成23年調査をもとに

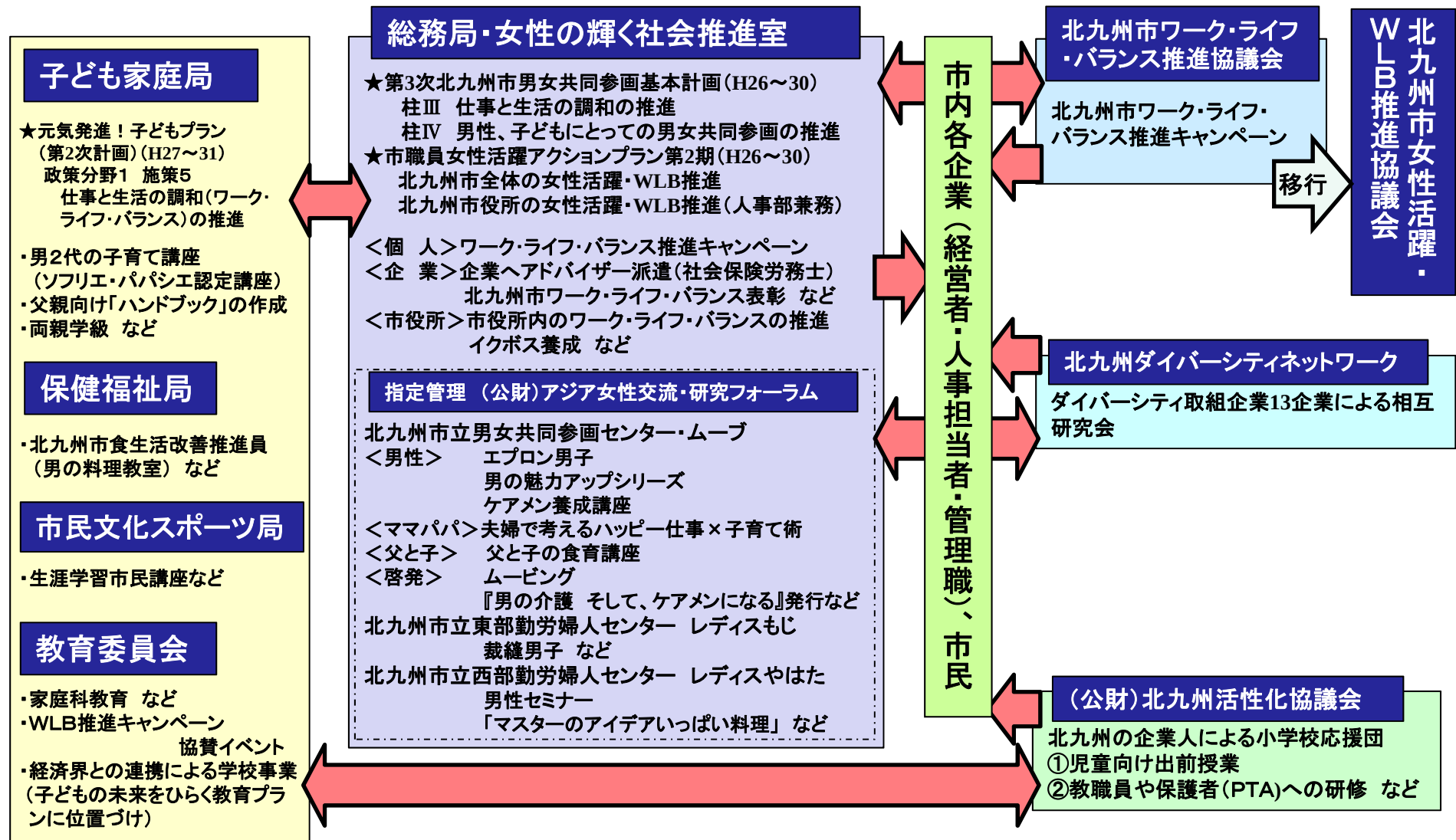
カエル! ジャパン
Change Japan

変えよう!働き方!
はじめよう!充実生活

北九州市ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン

年度		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
(北九州市全体)		3月 第1回北九州市ワーク・バランス表彰	8月 「女性活躍推進アクションプラン」策定	12月 「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」設立						4月 「女性活躍推進アクションプラン第2期」策定	4月 「女性の輝く社会推進室」設置	10月 北九州市女性活躍・WLB推進協議会設立
北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	働く女性対象	次世代リーダー養成講座・ワンポイントセミナー・ムーブカフェなど										
	男性対象	弁当男子 エブロン男子 エブロン男子 (初級編 中級編) おとこのライフシリーズ 洗濯男子 スターティン グノート アイロン男子 俺メン ご当地グルメ編 おとこの魅力 アップシリーズ 片付け男子 緑茶男子(予定) 裁縫男子(予定)										
	父と子対象	H10年～ 父と子の食育講座 ケアメン 養成講座 ムービング 誌上講座 「男の介護そして、 ケアになる」発行 「ケアメンという生き 方モデル」講演会 教室 ケアメン 修了生の会 (2ヶ月に1回活動)										
	ママパパ対象	子育て中の ママパパ講座 共働き、子育て 中のママパ パ講座										
北九州市 （他子ども 家庭局など）		男2代の子育て講座(ソフリエ、パパシエ認定講座) 父親向け「ハンドブック」作成・配布 企業人による小学校応援団										

北九州市・ムーブにおける男性の暮らし方・意識変革に向けた取組



ムーブの取組 男性対象①



「弁当男子」、「エプロン男子」

料理の楽しさを知り、男性の積極的な家事参画を促す

● H22年度 弁当男子(単発講座 年5回講座実施)

H23年度～エプロン男子(各コース3～4回 基礎を学べるよう充実)

H25年度～初級編を新設(レベル差を解消)

- ・毎回 定員を上回る申込み ニーズの高い講座
- ・エプロン男子修了者 延べ528人 50歳未満 23.8%

60代が多い

楽しかった。
妻の大変さが分かった。
料理を始めるきっかけになった。



ムーブの取組 男性対象②



「おとこのライフシリーズ」、「おとこの魅力アップシリーズ」

- ・男性向け講座を実施してほしいという要望を受け「おとこのライフシリーズ」としてスタート
- ・回数を増やし、様々なテーマで実施する「おとこの魅力アップシリーズ」とした。

テーマ:家事の基礎や生き方

● H26年度 洗濯男子、定年世代×おとこの「スターティングノート」

H27年度 アイロン男子、俺メシ(ご当地グルメ)

H28年度 片付け男子、緑茶男子(予定)、裁縫男子(予定)など

- ・毎回 定員を上回る申込み ニーズの高い講座
- ・修了者 204人

初めてアイロンを触った人が大半。

楽しい。

妻が一週間分のアイロンがけをしているのを見て悪いと思った。

これから実践する。



ムーブの取組 男性対象③



「ケアメン養成講座」

介護や家事に関する基礎知識の習得や同じ悩みを抱える仲間とのネットワークづくりをサポートする。

- 対象 介護に関心のある男性 H25年度～ 修了者 延べ49人

広報・座談会について「老いを支える北九州家族の会」と連携(平成28年度)

- H28年1月～修了生の会『ケアメンの集い』の活動スタート

- 啓発 センターの情報誌ムービングで特集(平成25年度)

啓発誌『男の介護 そして、ケアメンになる。～はじめの一步～』作成(平成25年度)

講演会「ケアメンという生き方モデル」開催(平成26年度)

両親を介護しているが「自分ひとりじゃない」と実感した。

知っていることが重要。介護の覚悟ができた。



ムーブの取組 ママパパ対象



「夫婦(ふたり)で考えるハッピー仕事×子育て術」

妻の就業支援の視点から実施。子育てと仕事の両立について、必要な知識を学び、夫婦二人で考える機会を提供

● 対象 共働きで、子育て中か、子育てを考えている夫婦

H25年度～

内容 ①子育てしながら働くコツと心構え ②タイムスケジュールを書く

③先輩ママパパ体験談&交流会

修了者 33組

産休明けの生活のイメージが分かった。

お互いが話す時間が取れた。

先輩の話から夫が協力することの大切さが分かった。



ムーブの取組 父と子対象



「父と子の食育講座」

父と子どもと一緒に料理をすることで、親子の交流を促し、食の大切さを親子で学習するとともに、父親の家事参加を促す。

● 対象 4歳から小学校4年生の子どもとその男性保護者

(お父さん、おじいちゃん等) 会食のみ母親参加

H10年度～ 現在年3回実施

毎回人気の講座

楽しかった。お父さんと作った料理はおいしかった。



ワーク・ライフ・バランス推進の取組①



北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会

- 発起人

北九州商工会議所 連合福岡北九州地域協議会
北九州市

- 設立年月日

平成20年12月19日

- 協議会構成団体

経済団体、企業、労働団体、
NPO等市民団体、有識者、
行政機関など18団体



ワーク・ライフ・バランス推進の取組②



北九州市ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン

- 推進月間(11月)
- 主催 北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会、北九州市
- 事業 街頭啓発 WLB新聞(小中学校等の全保護者へ配布)
市民参加型事業 ノー残業デーや定時退社の呼びかけなど
- 協賛イベント(例 学校開放週間、子どもの館無料開放)



街頭啓発(JR小倉駅)



ワーク・ライフ・バランス推進の取組③



企業に対する働きかけ

● ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業

従業員の子育て・介護支援や時間外勤務削減など、ワーク・ライフ・バランスに取り組もうとする事業所に対して、アドバイザー(社会保険労務士)を派遣し、必要な相談、情報提供を行う。

● 企業向け出前セミナー

これから女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組もうとしている、あるいはさらに取組を進めようとしている企業・事業所に、そのニーズにあった内容で講師を派遣してセミナーを実施する。

● 企業向け講演会

企業のトップや人事担当者等を対象に、企業にとってのワーク・ライフ・バランス推進のメリット・具体的取組事例等について、専門家を招いて実践的な講演会を開催



小室淑恵氏による講演会

ワーク・ライフ・バランス推進の取組④



北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰

- 受賞数累計(平成19～27年度) 54社(企業・団体36、個人18)

市内企業のPR 市の入札資格及び建設工事・総合評価落札方式で配慮

- ★ 平成27年度 梯 輝元

モノづくりのまちを担う次世代のライフとキャリアを応援する 商店街のイクボス

- ★ 平成26年度 森 豪

働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを推進するための勉強会や講座を開催。父親の育児参画を促す活動を行っている。

- ★ H23年度 川原英明(北九州農業協同組合)

野菜のスペシャリストとして、職場や家庭で影響力を発揮する“食育系イクメン”



商店街のイクボスの梯さん



食育系イクメンの川原さん



毎日採れ立ての野菜を店頭に並び、来店者に生産者の情報や旬の野菜の美味しい食べ方などを広く伝える。可愛らしく栄養バランスの良い弁当は前日に子どもと一緒に買い物へ行き、朝の10分～15分で手早く作る。無理せず楽しんで家事を行う姿はとても自然体。



森さんの研修会の様子

ワーク・ライフ・バランス推進の取組⑤



北九州市役所におけるイクボスの取組

● 市長、副市長、局長級職員によるイクボス宣言

◆ 平成26年12月

市長、副市長、局長級の幹部職員が、
部下のワーク・ライフ・バランスとキャリアを応援し、組織
としての業績を出しつつ、自らも両立を楽しむことを宣言。



● 全管理職がイクボス宣言(地方自治体初)

◆ 平成27年4月

全管理職615名のイクボス宣言が完了。
イクボス実践度をボーナスに反映



◆ 平成28年5月

20指定都市の市長共同のイクボス宣言 など

● 企業や団体への働きかけ

企業に講師を派遣する「出前セミナー」で、イクボスをテーマで実施。
イクボスの意義やロールモデルとなる企業を紹介した「イクボス
プレス」を作成するなど、イクボスの普及啓発を図った。



北九州の企業人による小学校応援団



- (公財) 北九州活性化協議会が義務教育支援活動研究会を設置
(H21年4月~H22年9月)
- H22年10月 義務教育支援活動の対象を「小学校教育」とする
報告書作成
- H23年10月 小学校応援団発足
(地元企業等約100社でスタート H28年4月現在 229社)
- 小学校応援団の取組 小学校応援団は、企業人が講師となって出向く児童向け
出前授業・教職員や保護者(PTA)への研修、親学の奨励、(応援団参加企業の従業員の)
PTA総会等への参加促進やPTA役員就任
支援等PTAへの支援等に取り組んでいる。

● 活動実績

H24年度11校 → 平成28年度100校
(H29年度 全小学校132校目標)
出前講座 H25年度49件
→ H27年度134件



北九州市の他の取組



● 子ども家庭局の取組

「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」で「仕事と生活の調和」を位置づけ

◆ 男2代の子育て講座(ソフリエ・パパシエ認定講座)(H21～)

◆ 父親向け「ハンドブック」の作成

妊娠、出産、子育てに関する情報を父親目線で発信

◆ 両親学級

◆ すくすく子育てフェスタ(H22～)

H25年度は、「ファザーリング全国フォーラムin九州」と共催

◆ WLBキャンペーン協賛イベント 子どもの館無料開放

● 保健福祉局 北九州市食生活改善推進員協議会の取組

◆ 男の料理教室

● 市民文化スポーツ局の取組

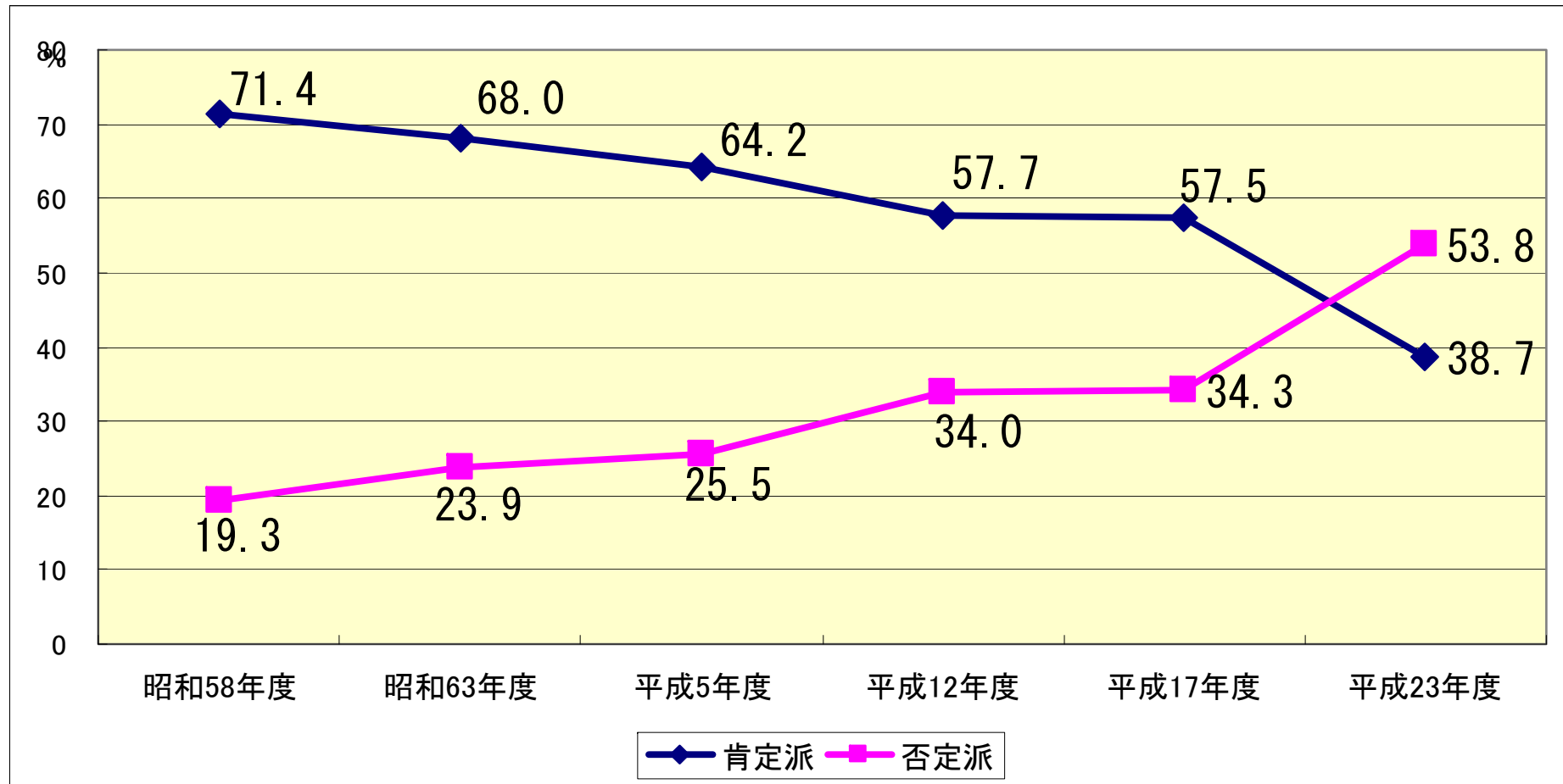
◆ 生涯学習市民講座 男性料理教室、男のワクワク講座(地域デビュー) 男の我まま塾(定年後の生きがいづくり)、おやじ倶楽部(地域参加と仲間づくり)など

● 教育委員会の取組

◆ 家庭科教育など ◆ WLB推進キャンペーン協賛イベント 学校開放週間

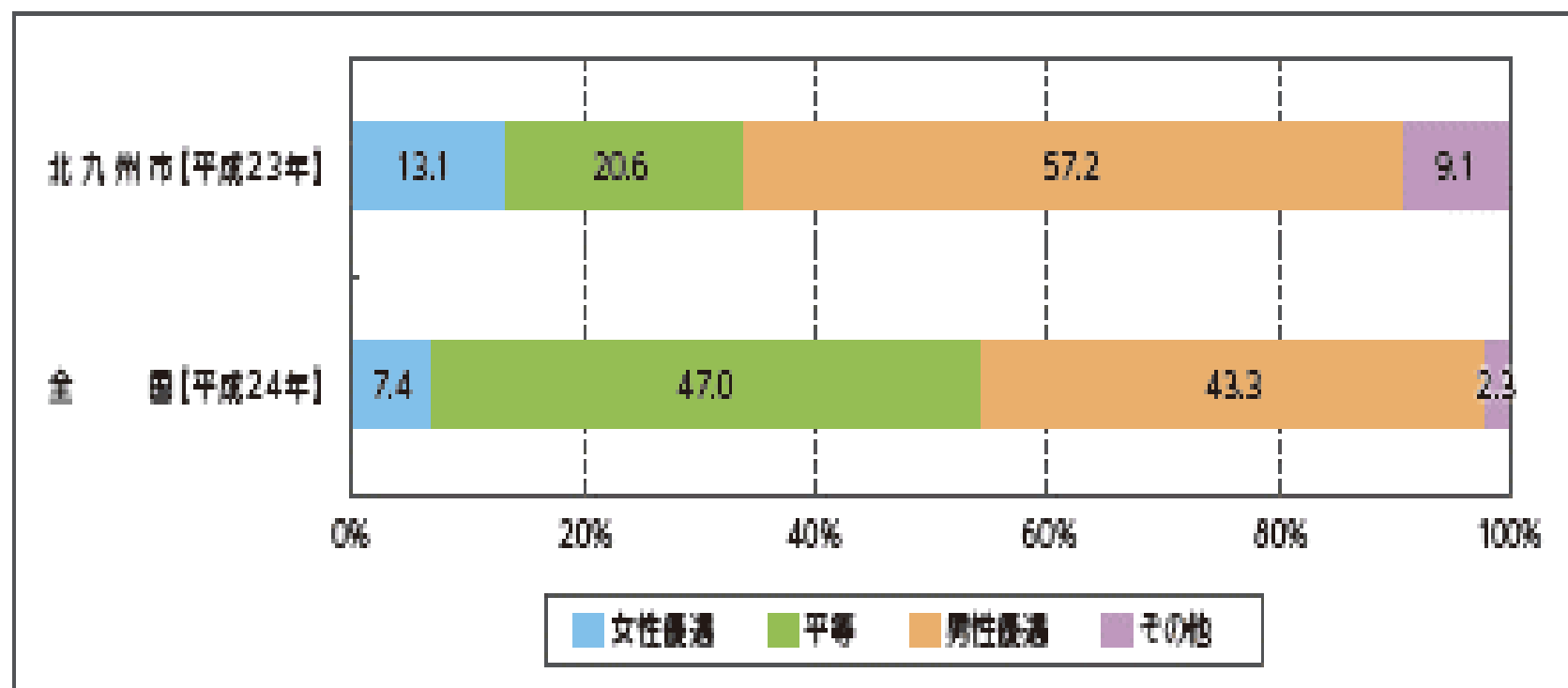


性別による固定的役割分担意識



資料:北九州市の男女共同参画社会に関する調査(平成23年)

家庭生活における男女平等達成感

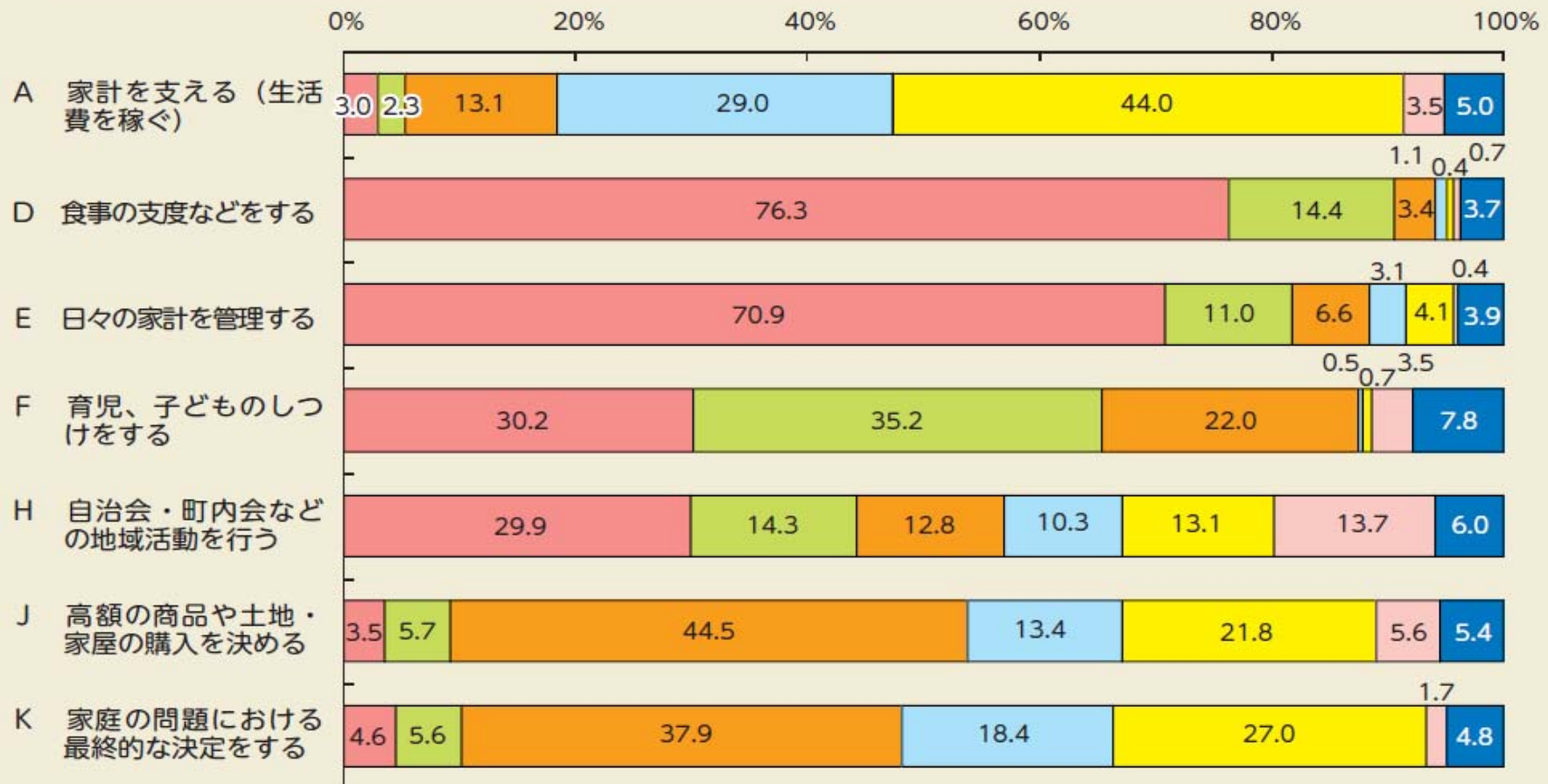


資料:平成23年 北九州市の男女共同参画社会に関する調査
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年)

家庭内の仕事分担



- 主に妻が行っている
- 主に妻が行い、夫が一部を分担している
- 夫と妻が同じ程度に分担している
- 主に夫が行っている
- 無回答
- 主に夫が行い、妻が一部を分担している
- その他



資料：北九州市の男女共同参画社会に関する調査（平成23年）

家庭内の仕事分担で配偶者に望むもの

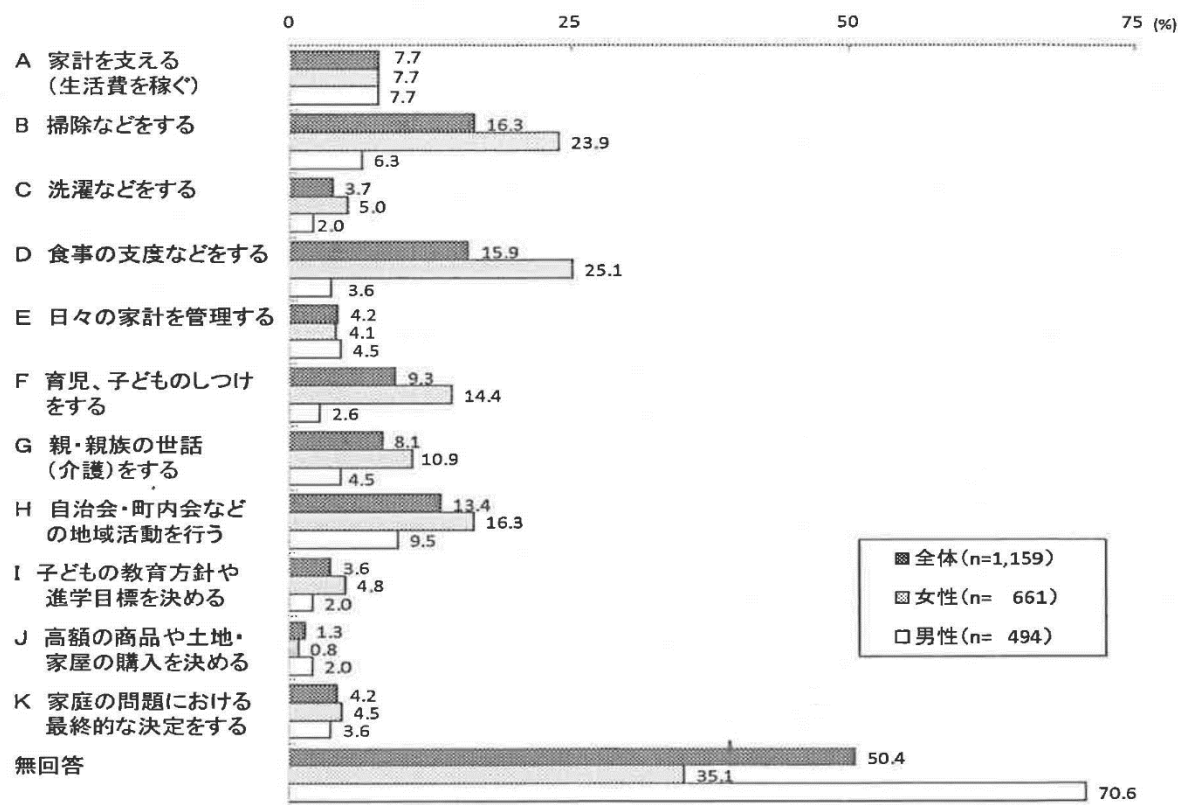


(3) 家庭内の仕事分担で配偶者に望むもの

問5② また、あなたが配偶者の方に、もってほしいことはどれですか。

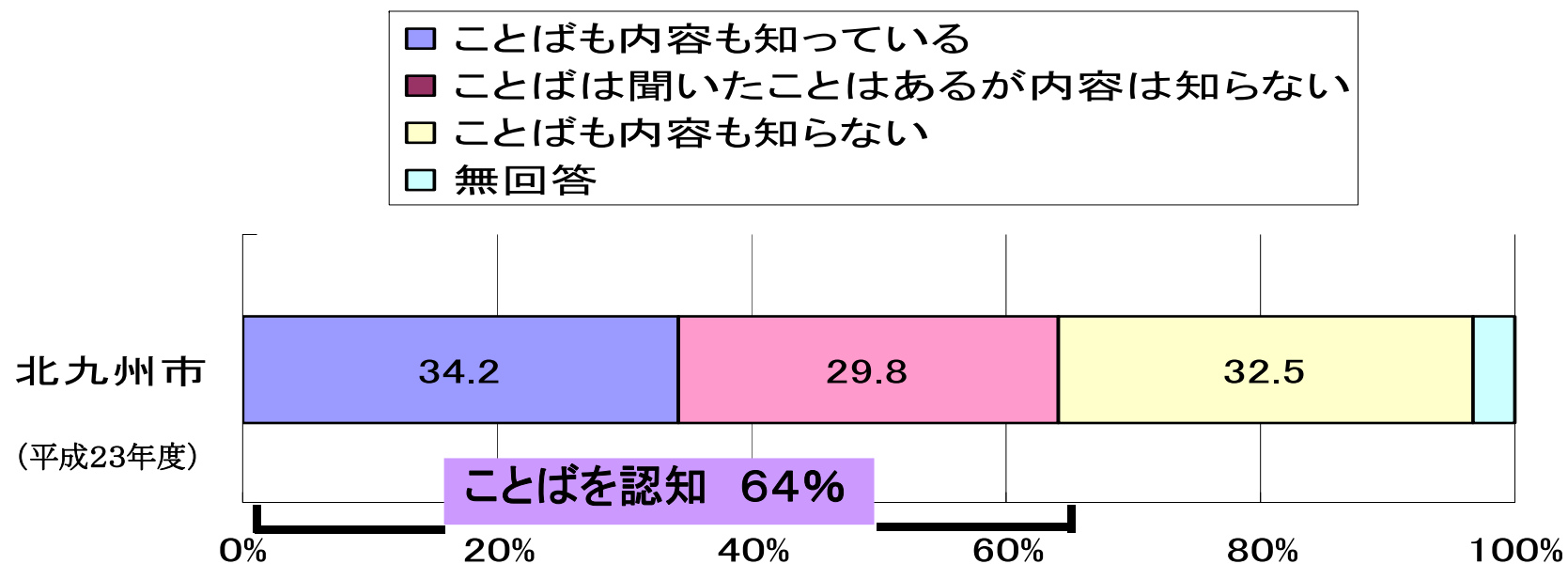
主なものを2つまで選び、下の枠の中にアルファベット(A～K)を記入してください。

【図表 3-9 家庭内の仕事分担で配偶者に望むもの（複数回答）】



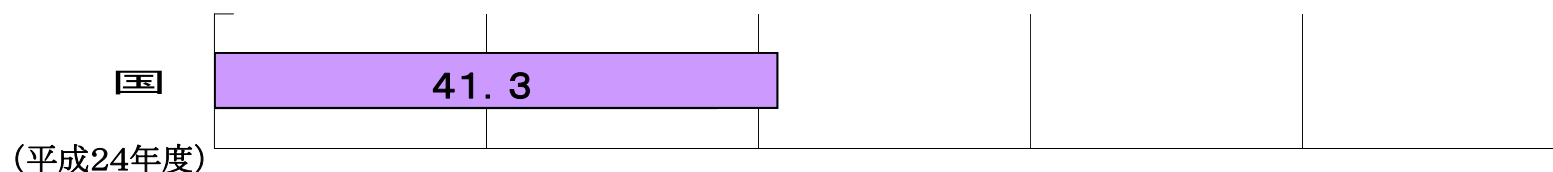
資料: 北九州市の男女共同参画社会に関する調査(平成23年)

ワーク・ライフ・バランスの認知度



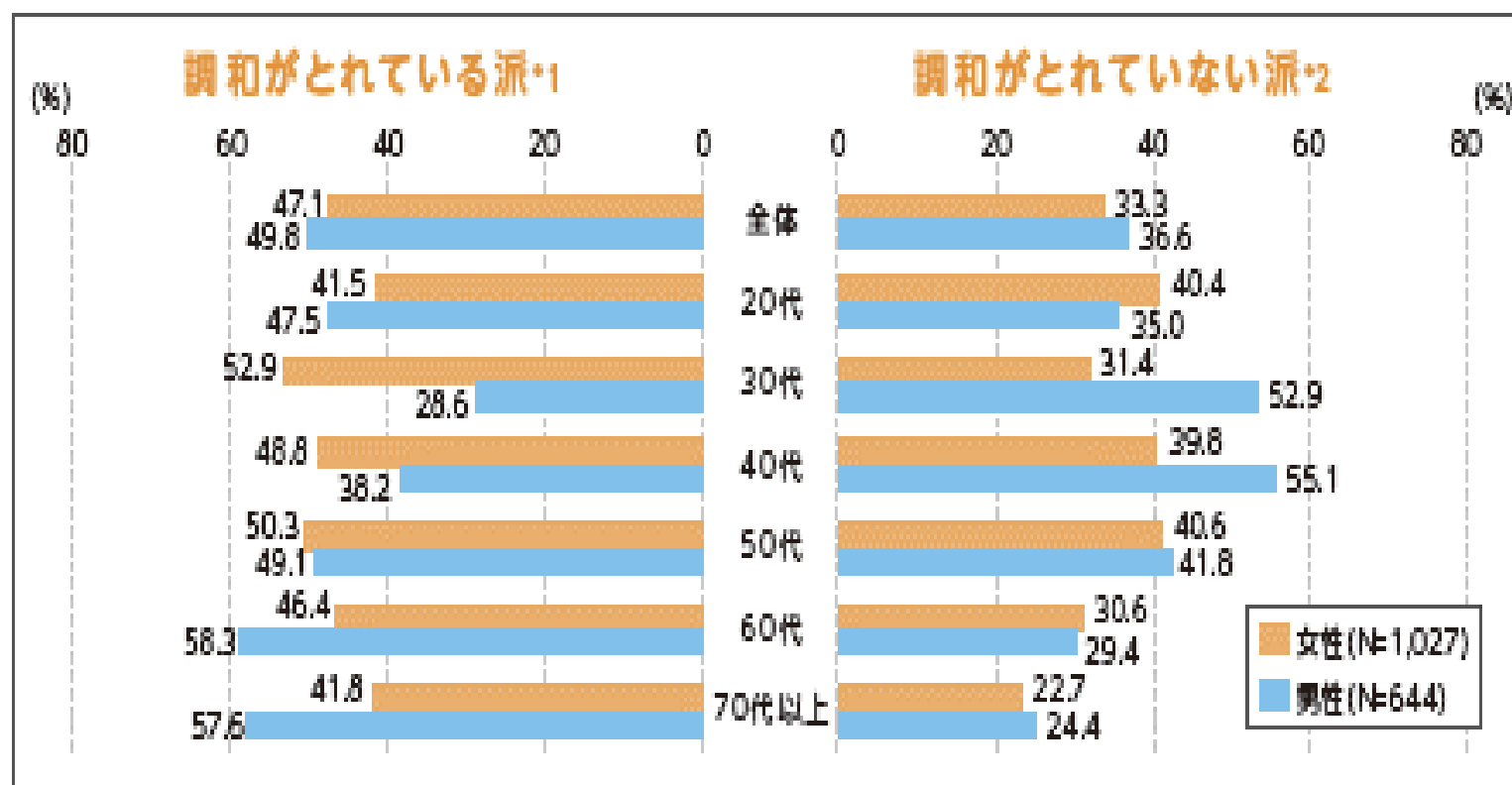
資料:北九州市の男女共同参画社会に関する調査(平成23年)

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」ということばを見たり聞いたりしたことがある



資料:内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年)

ワーク・ライフ・バランスの現状認識



資料:平成23年 北九州市の男女共同参画社会に関する調査

*1は、「調和がとれている」「どちらかという調和がとれている」割合の合計

*2は、「調和がとれてない」「どちらかという調和がとれていない」割合の合計